

ひこね 市議会だより



子ども議会を開催しました
平成28年11月12日(土)

平成28年11月臨時会(11月21日)
平成28年12月定例会(12月5日~12月22日)

- 特集 子ども議会…………… 2~5
- 議会で決まったこと…………… 6~12
- 個人質問・質疑…………… 13~22
- 特別委員会中間報告等…………… 23
- 委員会視察・継続調査…………… 24~25
- お知らせ…………… 26~28

11月5日
リハーサル

第9回 子ども議会を 開催しました

8月18日
事前研修会



議長は議事の進め方の説明を受ける

市議会では、市民に開かれた議会づくりを進めるため、その取組の一環として開催する「子ども議会」は、彦根市議会や市の取組を身近に感じ、興味を持ってもらうこと第9回を迎えた今回は11月12日に開催し、市内17小学

リハーサルでは、議長立候補者7名の中から議長3人を決定するくじと、全員の議席を決めるくじを行いました。その後、議場で質問をする練習をしました。

各種事業に取り組んでいます。市の未来を担う子どもたちが、市への質問や提案を通じて、を目的にしています。校の6年生22人に子ども議員として参加していただきました。

事前研修会では、子ども議員選出書交付を受け、子ども議員としての第一歩を踏み出しました。まず、市役所の仕事についての説明を受け、質問の作成に取り組みました。



子ども議員選出書交付



議場開放促進委員のデモンストレーションから、議場への入退場は必ず一礼をすることを始め、議長の議事進行に従って質問をする手順を学びました。初めての議場に緊張と戸惑いを見せながらも、本番に向けて練習を重ねました。



議長当選



中身の濃い質問を作成するには資料を収集することが大切！

議場開放促進委員会副委員長のこの言葉を聞き、自ら担当課に電話をして、知りたいことを問い合わせる議員や、参考資料を得るために、庁舎内のパンフレットを探しに行く議員もいました。また、電話で問い合わせた内容を詳しく説明するため、執行部から研修会場に説明に来てくださるなど、議員の熱意が執行部の協力を得ることにつながりました。



委員に見守られながら質問練習



担当課へ自ら問い合わせる

教育委員会の指導主事の先生から、思いを質問にまとめる作業を丁寧に指導していただきました。



リハーサル終了後、議会ツアーを行い、議長室や議会応接室を見学



職員の説明を受ける



庁内のパンフレットで確認

第2グループ

9番 若葉小学校 川島 伝華さん
「自転車専用レーンの設置を」



10番 高宮小学校 森岡 瑞稀さん
「琵琶湖岸に子どもから大人まで楽しめる公園を」



11番 城北小学校 大森 陽貴さん
「防犯カメラを増やして安全な町に」



12番 城陽小学校 堀居 美里さん
「彦根市民が自分で命を守るために」



13番 稲枝北小学校 大西 桜愛さん
「荒神山古墳を広めるために」



14番 河瀬小学校 西島 良哉さん
「琵琶湖の固有種の魚を守ることに
ついて」



15番 稲枝西小学校 堀部 千穂さん
(第3グループ議長)
「市立図書館の建設と彦根市近隣の
図書館利用を」



11月12日
本番

子ども議員たちは、リハーサル後に当日は3つのグループにわかれて質問に対して再質問する議員もあり、本会傍聴には約80人の方がお越しになり、

も練習を重ね、本番当日を迎えました。問しました。なかには、質問をよりわかりやすく説明するためのパネルを作成してきた議員や、執行部からの答弁議しながらの緊張感のある子ども議会となりました。子ども議員たちの雄姿を温かく見守っていただきました。



第1グループ

1番 旭森小学校 上野 波留さん
(会議録署名議員)
「国体で、彦根の市民が活躍するには」



2番 平田小学校 坂田 あすかさん
(会議録署名議員)
「一人一人が自分に自信をもつために」



3番 金城小学校 吉原 ほのかさん
(会議録署名議員)
「小学校における動物飼育」



4番 城西小学校 古川 和愛さん
(会議録署名議員)
「彦根市の人の心に残るイベント作り」



5番 城東小学校 井入 聖奈さん
「私たちの学区に、子どもたちが体を動かせる公園を」



6番 鳥居本小学校 西村 萌実さん
「遊具を増やして楽しく運動を」



7番 稲枝北小学校 辰巳 咲寿音さん
「曽根沼干拓地を「道の駅」に」



8番 亀山小学校 磯貝 侑采さん
(第2グループ議長)
「障害のある人が意欲をもって働ける場所を増やしては」



第3グループ

16番 河瀬小学校 大林 莉緒さん
「たちばな号の巡回時間、巡回日について」



17番 稲枝東小学校 松山 時央さん
「稲枝に学生が利用しやすい図書館を」



18番 城南小学校 江畑 有希菜さん
「キッズ広報をつくってみたい」



19番 城北小学校 磯谷 莉子さん
「たくさんの外国人観光客が楽しめる彦根市に」



子ども議員の感想

彦根がもっといいところになってほしいという気持ちを提案するのは難しかったけれど、彦根のことを真剣に考えたり、自分が考えていることを伝えたりすることはとても大切だと思いました。

子ども議員の感想

- ・市の職員の方が分かりやすく答えてくださり、うれしく思いました。議会ではこれからの彦根市をよりよくするために色々な問題が話し合われていることを実感できました。
- ・子ども議会を通して、いろいろな人の前でスピーチをする勇氣と私たちの生活をよりよくするための考える力をつけることができました。
- ・私たちの意見や、これから6年生になる人たちの意見が実現していくことを楽しみに暮らしていきたいです。

傍聴者の感想

子ども目線での質問があり、普段見過ごしていたことが多く、改めて日常生活をする上でも大事なことがあると気づいた。いい機会だった。

11月21日の11月臨時会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案1件を審査し、原案のとおり、可決しました。

11月臨時会の結果

本庁舎耐震化整備事業

1億 10万円
債務負担行為補正 33億1,400万円

本庁舎の耐震補強および前面に5階建ての増築を行うとともに、本庁舎耐震化工事に伴い不足する駐車場を確保するため、木造別館等の施設を解体し、本庁舎北側に立体駐車場を建設する経費です。

※債務負担行為とは、複数年度にわたる契約を結ぶ場合など、あらかじめ後年度の支出について限度額と期間を定めるもの（地方自治法214条）



▲本庁舎耐震化後の完成予想図

11月臨時会の議決結果【全会一致で可決した議案等】

議案番号	件名	結果
議案第80号	平成28年度(2016年度)彦根市一般会計補正予算(第5号)	可決

A 1.0ポイント程度の
上昇が見込まれる

Q 危機管理室(災害対策本部)の配置は4階でよいのか。
A 関係する部署や情報収集・連絡調整を担う部署など全ての部署が連携する必要があるため、それらを統括するために、危機管理室は市長や管理部門とより近い4階に配置し、本部スペースは平常時には会議室として使用する予定である。

Q 本庁舎耐震化整備事業によって実質公債費比率にどの程度の変更に生じるのか。
A 平成27年度決算での実質公債費比率は8.0%であるが、本庁舎耐震化整備事業に関しては、1.0ポイント程度の上昇と見込んでいる。



辻 真理子議員

Q 耐震化事業による
実質公債費比率への影響は

Q 地場産品の展示を新庁舎で積極的に行うべきではないか。
A 1階市民ホールでの展示を想定している。



▲地場産品の展示イメージ

その他の質疑

・緊急防災・減災事業
債は増築部分にも適用されるのか



本庁舎耐震化・

増築工事の総事業費は



獅山 向洋議員

Q 本庁舎耐震化・増築工事の総事業費はどれくらいになるのか。

A 本庁舎増築棟実施設計委託業務が1億274万4千円、県有地取得が2億121万円、木造別館・県有建物他解体工事が2億530万円、立体駐車場建設工事が1億8700万円、庁舎耐震補強・増築・改修工事が合わせて31億7480万円、彦根駅西口仮庁舎賃借料が2億5897万5千円、同仮庁舎内装工事が3052万円、また、執行済みの市役所耐震補強工事実施設計委託業務の1億283万400円および今回の庁舎耐震化・増築・

改修工事監理委託業務の2700万円を加えると、本庁舎耐震化・増築工事関連事業費は、執行済と今後の概算を合わせて約39億3千万円になる見込みである。



▲現在の彦根市役所本庁舎



約39億3千万円になる見込みである

その他の質疑

- ・ 立体駐車場建設工事の詳細は
- ・ 補正予算各工事の業者選定の方法は
- ・ 分離・分割発注の有無は

本庁舎耐震化整備検討特別委員会 中間報告

11回目となる委員会を11月11日に開催した。

■平成29年1月から工事開始

第一期工事は、平成29年1月～3月にかけて、本庁舎北側にある県有建物と木造別館の解体が開始される。以降、第二期工事（平成29年3月～7月）で立体駐車場を建設、第三期工事（平成29年9月～平成31年3月）で庁舎補強・増築が行われる。

委員からは、工事中における工事車両の通行や来庁者の動線確保など、安全対策に万全を期すことを求める意見などが出された。さらに、増築部分の実施設計に係る質疑では、情報開示や展示のコーナーのあり方、緑化の範囲や整備方針などについて質された。

■約5800万円の経費削減が図れる

平成29年9月から約1年半の間、西口仮庁舎（アル・プラザ彦根3Fと4F）を使用する。これに係るランニングコスト等を含めた経費は、4億396万円と見込まれており、当初の東口仮設庁舎に比べて約5800万円が削減できることが明らかにされた。これに対し、仮庁舎の駐車場運用や来庁者の動線、共益費に係る費用負担について質疑などがされた。

12月22日に閉会した12月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案など予算関係は7件、「彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案」など条例関係9件、その他議案5件を審査し、原案のとおり可決および同意しました。

また、請願は2件を不採択としました。

12月定例会の結果

探索動画等作成委託業務

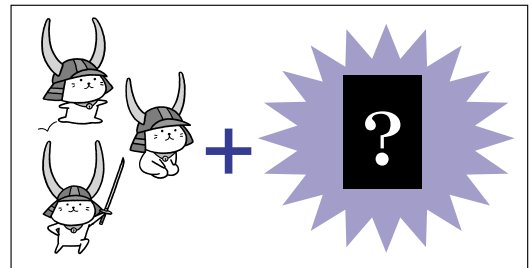
債務負担行為額 2,118万8千円

国宝・彦根城築城410年祭を機に、江戸時代や現代の「彦根の魅力」を楽しみながら知ることができるスマートフォン用史跡散策アプリを作成するための経費です。

また、「ひこにゃん」イラストの使用拡大を図るため、イラスト（ひこにゃんの新しいイラストや忍者等）の作成を委託する経費です。

内訳は、下記のとおりです。

- ・ 動画作成等委託料（史跡探索アプリなど） 1,900万円
- ・ 動画作成監修委託料 100万円
- ・ イラスト作成委託料 118万8千円



▲ひこにゃん、待望の第4イラスト

本庁舎耐震化整備事業

債務負担行為額 2億5,897万5千円

本庁舎耐震化の工事期間中の仮庁舎として使用する、アル・プラザ彦根（3階、4階フロア）を賃借するための経費です。

- ・ 賃借物件：アル・プラザ彦根 3階（2,135㎡）、4階（2,165㎡）
- ・ 賃借期間：平成29年6月1日～平成31年5月31日
- ・ 限度額：2億5,897万5千円（賃借料、店舗移設関連経費を含む）

小学校空調設備設置事業

8億600万円

市内11小学校の空調設備（エアコン）を整備するために必要な経費です。国の補正予算を活用し、順次市内全小学校に整備します。

平成30年4月から、子どもの通院医療費助成を 小学校3年生まで実施

子どもの保健の向上および福祉の増進を一層図るとともに、子育て環境のさらなる充実をめざすため、平成30年4月から、子どもの通院医療費助成を拡大します。

〈医療費助成対象の内容〉

【現行】

- ・乳幼児の医療費
- ・小学生、中学生の入院医療費

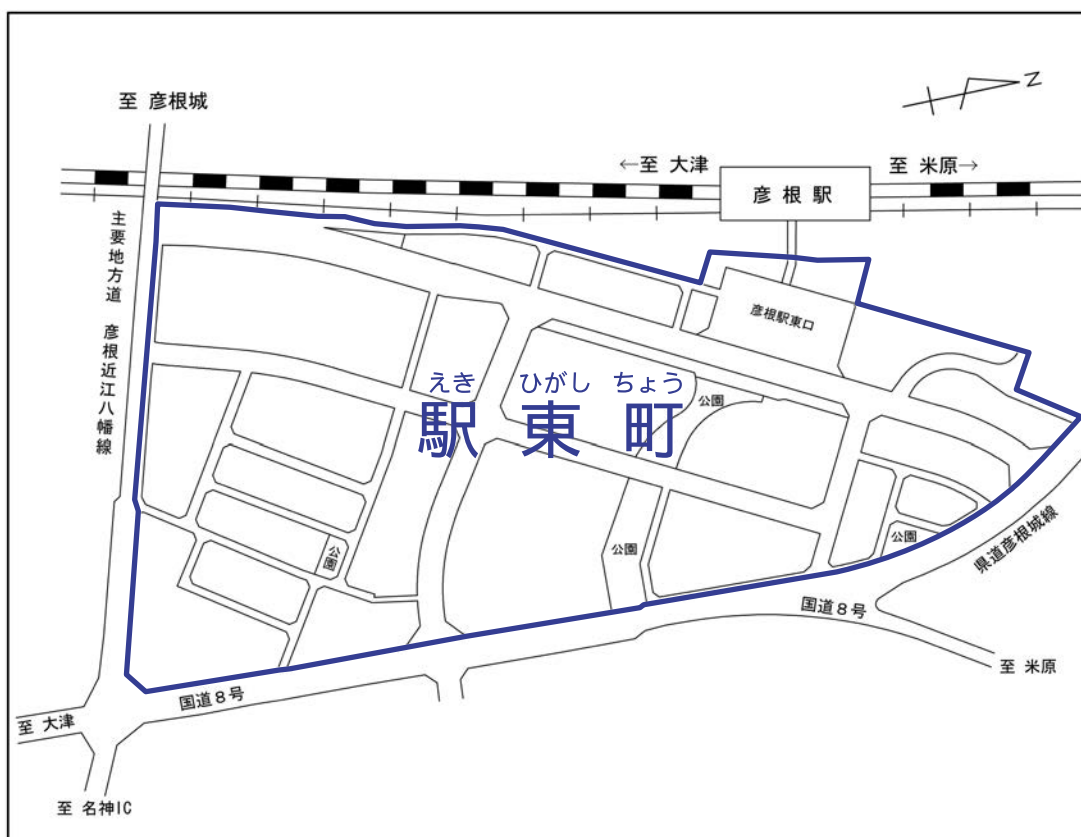


【平成30年4月から】

- ・小学1年生から小学3年生までの子どもの通院医療費（医科、歯科、調剤を含む）

※所得制限はありません。

えきひがしちょう 44年ぶりに新しい町「駅東町」が誕生



▲彦根駅の東側に位置する新しいまち「えきひがしちょう駅東町」の区域図

町の区域を新たに画することを認める議決を行い、平成29年11月頃に予定されている換地処分の公告を経て、彦根市に新しい町「えきひがしちょう駅東町」が誕生します。

予算常任委員会

探索動画等作成委託業務費含む

彦根市一般会計補正予算を可決

予算常任委員会は、12月15日、22日に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第81号、議案第82号、議案第83号、議案第84号、議案第85号、議案第86号、議案第100号

【主な内容】

○議案第81号 平成28年度（2016年度）彦根市一般会計補正予算（第6号）のうち、探索動画等作成委託業務について質疑があり、5カ所の史跡、文化財や建造物群等の前に行ってスマホをかざすと、ひこにゃんと忍者による謎解きアニメが出現し、忍者の情報を裏付ける江戸時代の人物や建物や映像等がAR技術でたちあがるというもので、江戸時代の彦根の様子を紹介する内容との答弁があった。

○議案第100号 平成28年度（2016年度）彦根市一般会計補正予算（第7号）の駅舎バリアフリー化促進事業では、11月14日にJR西日本と彦根駅西口エスカレーター設置の協議は整ったが、事業着手は来年度となるため、予算の繰越をお願いしたいとの答弁があった。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

福祉病院教育常任委員会

デイサービスセンター等の

指定管理者の指定についてを可決

福祉病院教育常任委員会は、12月16日に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第97号、議案第98号

【主な内容】

○議案第97号 彦根市デイサービスセンターきららおよび彦根市グループホームゆうゆうの指定管理者の指定につき議決を求めることについては、応募事業所が一体であり、選定審査評価点数が低いのではとの質疑に対し、彦根市デイサービスセンターきららでは、審査25項目を8名の委員で一人125点。1000点満点中671点。彦根市グループホームゆうゆうでは、審査24項目を8名の委員で一人120点。960点満点中633点である。どちらも、各委員の合計配点の6割以上であり、基準を満たしているため問題ないとの答弁があった。

○議案第98号 彦根市北老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについては、市の直営から指定管理者に移管した際に現在勤務している職員の処遇はどうなるのかとの質疑があった。これに対し、所長は市職員のOBで退職となる。所員兼相談員についても継続とせず一旦退職となるが、相談員はハローワークで募集することから申し込みがあれば採用もあり得るとの答弁があった。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

市民産業建設常任委員会

小学3年生までの通院医療費を新たに助成対象とする条例などを可決

市民産業建設常任委員会は、12月19日、22日に委員会を開催し、4件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第88号、議案第94号、議案第95号、議案第101号

【主な内容】

○議案第95号 彦根市子どもに係る医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案では、平成30年4月から小学3年生までの通院に係る医療費の無償化の実施に伴い、対象者への周知や時期についての質疑があり、同年1月より対象者へ申請書類の送付を開始し、該当者の加入保険状況の把握を行った上で、3月上旬に受給券を発行する予定であるとの説明があった。

○議案第101号 財産の取得につき議決を求めることについては、取得する土地をパーク・アンド・バスライドの拠点として整備する方針であることから、土地利用のあり方や利用者への周知方法等についての質疑があり、行政財産として活用し、ホームページ等で周知を図るとの答弁があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決。

企画総務消防常任委員会

彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例を可決

企画総務消防常任委員会は、12月20日に委員会を開催し、7件の議案と2件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第87号、議案第89号、議案第90号、議案第91号、議案第92号、議案第93号、議案第96号
- ・請願第8号 原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願
- ・請願第9号 自衛隊員や南スーダンの少年兵の命を守るため自衛隊の南スーダンPKOからの撤退を求める請願書

【主な内容】

○議案第96号 町の区域を新たに画することにつき議決を求めることについては、半永久的に使用する町名は地権者のみで決めるべきではなく町名はもつと慎重に対応すべきであり、反対するとの討論があった。

○請願第8号に対しては、自治体は国や福島県が避難解除したからといって簡単な判断をすべきではない。また、制度を打ち切る理由が明確でなく、関係者が納得できる説明が必要であるとの意見があった。

○請願第9号に対しては、南スーダンは国家体制も軍も統一できていない。混沌とした状況の中へ自衛隊を派遣することは危険であり、撤退することも必要であるとの意見があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決。
- ・請願はいずれも不採択。

12月定例会の議決結果【全会一致で可決・同意した議案等】

議案番号	件名	結果
議案第 82号	平成28年度(2016年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第 83号	平成28年度(2016年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第 84号	平成28年度(2016年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第 85号	平成28年度(2016年度)彦根市立病院事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第 86号	平成28年度(2016年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第 87号	彦根市重要伝統的建造物群保存地区における彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の特例を定める条例案	可決
議案第 88号	彦根市農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数を定める条例案	可決
議案第 89号	彦根市事務分掌条例の一部を改正する条例案	可決
議案第 90号	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第 91号	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第 92号	彦根市職員の退職手当に関する条例および彦根市水道事業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第 93号	彦根市市税条例の一部を改正する条例案	可決
議案第 94号	彦根市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第 95号	彦根市子どもに係る医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第 97号	彦根市デイサービスセンターきららおよび彦根市グループホームゆうゆうの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決
議案第 98号	彦根市北老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決
議案第 99号	彦根市功労者の表彰につき同意を求めることについて	同意
議案第101号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
報告第 30号	和解および損害賠償の額の決定について	—
報告第 31号	損害賠償の額の決定について	—

【賛否が分かれた議案・審議結果】 (○：賛成 ●：反対 欠：欠席 —：議長)

議案番号	件名	結果	谷口 典隆	獅子 向洋	北川 元気	辻 真理子	夏川 嘉郎	小川 喜郎	赤井 康彦	安藤 博	八木 嘉之	矢吹 安子	和田 一繁	野村 博雄	杉原 祥浩	小菅 雅奎	上杉 正敏	中野 正剛	山内 善勇	山田 多津子	奥野 嘉巳	長崎 任男	安藤 正勝	安藤 正徳	西川 正義	馬場 和子		
議案第 81号	平成28年度(2016年度)彦根市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	○
議案第 96号	町の区域を新たに画することにつき議決を求めることについて	可決	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	○
議案第100号	平成28年度(2016年度)彦根市一般会計補正予算(第7号)	可決	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	○
請願第 8号	原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願	不採択	●	○	●	○	○	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	●	●	●	●	●	—	●
請願第 9号	自衛隊員や南スーダンの少年兵の命を守るため自衛隊の南スーダンPKOからの撤退を求める請願書	不採択	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	欠	○	●	●	●	●	●	—	●

Q 上水道の充実を



中野 正剛議員

Q 上水道の水質管理体制の充実はどうにしているのか。

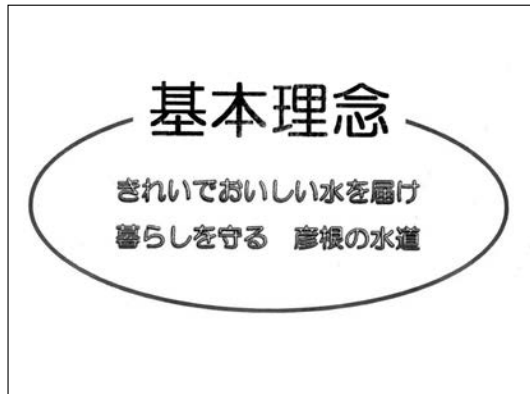
A 本市では、急な水質変化に対応するためにあらゆる水質検査や監視を行っている。水質検査においては、水道法に定められた検査項目以外にも、本市独自に選定した項目を毎日検査するなど、より安全性を高めている。今後は、研修による担当職員の技術向上や、化学専門職員の新規採用を実施していく。

Q 本市の基幹管路の耐震適合性と耐震化は。

A 本市の地盤は鳥居本等の山間地域を除き耐震適合性の観点からは良好ではなく、本

A 水質管理体制の充実と耐震化を進める

市の基幹管路は、震度7の地震にはほぼ耐えられないと考えられる。今後は、基幹管路を中心とした耐震化計画を水道事業ビジョンにおいて重点的に取り入れる。



▲彦根市水道事業基本理念

その他の質問

- ・がん支援について(アピアランス支援・就業支援)
- ・「食と農の景勝地」計画について

Q 燦ぱれず解体の政治責任を明確にされたい



獅山 向洋議員

A 言葉は入っていない。目的に建設された。新市民体育センターと合築するといながら、その整備基本方針に「勤労者」との言葉が全くないことを認めるか。

Q 平成28年3月に市長が策定した「彦根市公共施設等総合管理計画」には「築60年で建替え」「築30年で大規模改修」となっている。築後26年しか経過していない「ひこね燦ぱれず」の解体はこの管理計画に反するが、この決断を行ったのは大久保市長であること

A お見込みのとおり。

Q 解体の決断の前提となった多額の改築費用は、更新費用試算ソフトによる机上の計算で決断したのか。

A そのとおりである。

A 私(大久保市長)が解体の決断をした



▲現在のひこね燦ぱれず

その他の質問

- ・第1種住居地域に新市民体育センターを建設する理由は
- ・近隣商業地域に用途変更できるのか
- ・周辺住民への影響は

Q 新市民体育センターに
図書館利用者の意見を



安藤 博議員

Q (仮称)彦根市新市民体育センター建築設計検討委員会の委員選考の考え方は。

A 外部委員として、学識経験者3名と、市民体育センターとひこね燦ぱれすの利用者代表2名、そして地元自治会代表1名の計6名。内部委員として関係各課の所属長5名を考えている。

Q 彦根市図書館整備基本計画素案で、新市民体育センター内にサテライト館を設置するとある。しかし、彦根市図書館協議会での議論では、図書館として整備する意見もあるが、どちらにしても図書館の利用者の意見を反映するため、

A 地元自治会代表等に
議論をしていただく

め、委員を追加しては、
A 図書館機能については、ひこね燦ぱれす利用者代表と地元自治会代表者に議論していただきたいと考えており、新たに加えることはない。



▲ひこね燦ぱれすの図書資料室

その他の質問

- ・議案第81号 探索動画作成委託業務に
関して
- ・市長の公約実現と次
期市長選挙に関して

Q 着実でさらに積極的な
市民満足度への取組を



野村 博雄議員

Q 市民満足度(CS)への

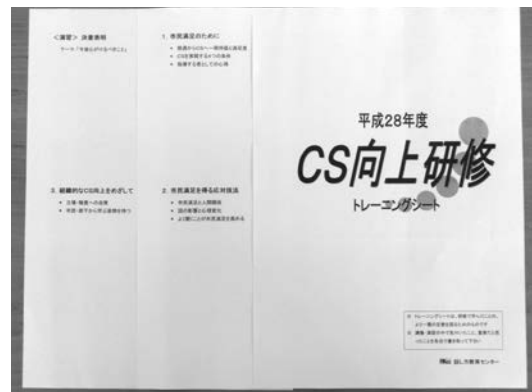
本市の取組状況と、窓口や電話での応対で部署名や応対者名が明確に伝えられていない等、等、着実に実施されていない場面が見受けられるが見解は。

A 平成17年度から取組を始め、毎年度各所属からCS推進員を選出し研修を実施。またそれぞれの職場で目標と計画を定める等CS向上に取り組んでいるが、指摘の点は研修において改めて学習し、引き続きCS向上に努力する。

Q 市民の声をよりの確に市政に反映できるよう、市政全般についてのCS調査の実施も重要と考えるが見解は。

A 市民の声を反映するべく
一層取組を進める

A 10年に一度の彦根市総合計画策定時に市民意識調査等を実施しているが、今後、総合計画策定から5年後の後期基本計画策定時にも実施できないか等検討する。



▲研修で使用されているトレーニングシート

その他の質問

- ・ふるさと納税制度の
さらなる活用を
損壊された道路・付
帯施設の早期復旧を
市立病院の診療・検
査体制について



空き家対策協議会を設置すべきでは



赤井 康彦議員

Q 空き家に関する苦情は、25年度50件、26年度58件であったが、27年度はどのくらいの数か。

A 27年度は、54件である。

Q 国の空き家等対策に関する特別措置法第7条には、空き家対策等計画の作成や実施にあたり協議会を設置できると謳われており、市民の相談窓口ともなりうる空き家対策協議会を設置すべきと考えるがいかがか。

A 空き家対策を総合的に進めていく上で有効であり、設置に向け検討していく。

Q 空き家解体後、草木が生い茂り迷惑になることもあり、



総合的に進める上で有効であり検討する

空き家条例に空き地も入れるべきではないか。

A 空き地の雑草の繁茂に対する苦情等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で対応していく。



▲草木に埋もれている空き家

その他の質問

- ・通学路の安全対策について
- ・自転車運転保険加入義務化の周知は
- ・地下道や橋の耐震化について



稲枝駅西側開発を望むが稲部遺跡保存方法は



安居 正倫議員

Q 稲枝駅西側地区約20haの開発については、平成17年以降稲枝地区が一体となり地域振興を図るために積極的に対応し、地区内の大半の地権者耕作者の同意を得るなど、開発に向けて最大限の努力をしてきた。今回発掘している稲部遺跡の重要性は十分理解しており、道路整備に向けて早期に調査をして埋め戻し、その記録を基に都市計画公園内に遺跡博物館を建設するのも一つの保存方法と考える。一刻も早い道路整備を含む西口開発を望むが、どのように保存活用されるのか。

A 稲部遺跡は日本において

国家が形成されていく黎明期の
大集落跡で極めて価値の高い
遺跡である。この保存や活
用方法は、学術的発掘調査を
するのとも含め、都市建設部
と文化財部で協議をしている。



▲稲部遺跡 大型建物と鍛冶工房群

その他の質問

- ・100歳大学の開講に向けての課題や事業の進捗状況および開講時期等について



都市建設部と文化財部で協議している



利用者に優しい彦根駅周辺の整備を



山田多津子議員

早急にスロープを設置する。また、ブロック損傷箇所が危険と判断した場合は緊急の対応が必要で、来年以降に予定している駅前周辺整備工事に併せ、改修する予定である。

Q 毎日2万人利用のある彦根駅。来年は「築城410年祭」が開催される。多くの来訪者を迎えるにふさわしい駅周辺整備が必要で、西口に下りエスカレーターの設置が予定されているが工事の進捗状況は。

A 来年5月以降に工事着工で平成30年2月完成予定である。

Q 彦根駅西口はスロープもなく不便な状況で、利用者の動線にあるマンホールや周辺のブロックが損傷し、危険である。スロープの設置とブロックの改修への早急な対策が必要だが見解は。

A 築城410年祭で例年以上の利用が見込まれるため、



早急にスロープ設置と周辺整備をする



▲彦根駅西口の登り口付近のブロック損傷と段差

その他の質問

- ・市民のための新市民体育センター建設計画に
- ・通行止めになっている「栗見橋」の早期改修をもとめて



稲部遺跡の現地保存と
利活用を求める



奥野 嘉己議員

用できないか庁内協議を行う。
Q 遺跡が出ていない場所への市道迂回を念頭においては。
A 遺跡範囲を調べる試掘を行いつつ、文化財部と都市建設部間で協議を行う。

Q 稲部遺跡の重要性は。

A 市文化財委員会や学識経験者の見解では、三世紀におけるヤマト政権設立時の大集落で、日本のクニの成り立ちを考えるうえで重要な遺跡であり、県内初の事例。市南部地域の活性化のため、遺跡の保存と活用が必要とのこと。

Q 道路や住宅地化による盛り土で遺跡保存は可能なのか。
A 道路はライフライン工事によって遺跡保存に支障が出る。宅地開発についても、遺構が破壊される場合がある。

Q 観光客誘致への活用について見解は。
A 纏向遺跡の例もあり、活



重要遺跡であり、保存と活用を検討する



▲稲部遺跡見学会

その他の質問

- ・公共下水道の処理水の水质について
- ・公共下水道整備と農村下水の接続促進を
- ・上水道整備について

市内中学校にICT環境を作る構想はあるか

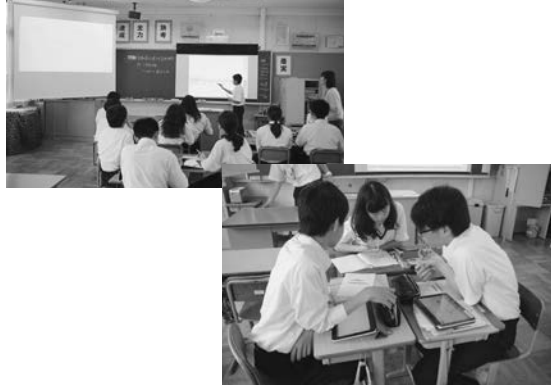


安澤 勝議員

Q 市内中学校に鳥居本と同じ環境を作る構想はあるか。

A 鳥居本中学校において一定の効果がえられるICT機器を活用した教育は、生徒の学習への興味や関心を高め、分かりやすい授業や生徒の主眼的で協働的な学びを実現する上で効果があり、確かな学力の向上につながる。そのため、電子黒板等大型表示装置、コンピュータやタブレット、デジタル教科書等の教育用コンテンツ、校内無線LAN等機器の整備が必要となる。また、教員の指導力も高めていかなければならない。教育委員会としては、モデル校である鳥

居本中学校の成果と課題を検証し、計画的に機器の整備を進めるとともに、教員のICT活用の指導力を高め、より良い教育環境を整えていきたいと考えている。



▲ICTを使った授業風景

計画的に機器の整備を進め教育環境を整える

その他の質問

- ・有害鳥獣対策
- ・彦根市の交通網の整備について
- ・彦根城お堀の白鳥を鳥インフルエンザから守れ

彦根の子どもの貧困率は



辻 真理子議員

Q 彦根の子どもの貧困率は。

A 「子どもの貧困対策計画策定」の基礎資料とするために行ったアンケートの速報値では、「過去一年にお金がなくて家族が必要とする食べ物や衣服が買えないことがあった」という回答が11.3%となり生活困難世帯を表している。

Q 子ども食堂の普及に関する支援策は。

A 彦根市内では5カ所で活動されている。県社協が設置した滋養の縁（えにし）創造実践センターによる開設・運営補助があり、市としての上乗せ補助は考えていないが、サポート体制の構築が必要で

あると考えている。
Q 「フードバンク」のような取組は。
A 今後仕組みや行政の担うべき役割の有無など、課題を整理する。



▲子どもの貧困関連記事

アンケート結果では生活困難世帯は11.3%

その他の質問

- ・彦根市の産業育成について（観光・仏壇・バルブ・縫製）
- ・中期財政計画におけるランニングコストについて



旧井伊神社社殿の現在の損傷状況は



和田 一繁議員

らなる歴史的な価値付けを行うため、学識経験者の指導・助言を得ながら保存活用計画策定につなげていきたいと考えている。

Q 旧井伊神社社殿の現在の損傷状況は。

A 外部の塗装や彫刻などの彩りについては、紫外線による劣化や剥落が進んでいる。内部の保存状態は良好だが、床板や壁板など、一部木材に腐朽や割れがあり、塗膜が損傷している箇所がある。修理等が必要であると認識している。

Q 旧井伊神社社殿の保存活用計画策定の予定は。

A 彦根市指定文化財の建造物である旧井伊神社社殿を後世に良好な形で継承していくために、適切な保存や活用のある方について、昨年度実施した建物調査とあわせて、さ



▲旧井伊神社社殿（市指定文化財）



各所において損傷が進んでいる

その他の質問

- ・開国記念館のさらなる活用について
- ・天秤櫓の活用について
- ・彦根城内のおもてなしについて



リフォーム補助事業の補正予算の概要は



杉原 祥浩議員

年目までは月額1万円を上限として、最長2年間交付する。
Q 彦根市移住促進住宅取得費補助金事業の補助金額は。
A 新築住宅の購入費用の10分の1で最大50万円交付する。

Q 「住もうよ！ひこね」リフォーム補助事業の申込有効件数は。

A 昨年度は625件であったが今年度は781件である。

Q 今回の補正予算の概要は。

A 想定是件数を上回る申し込みがあったが、本事業を「まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」と位置付けたスタート年であり、この事業効果の促進を図るため、全件を助成対象とするために必要な予算を計上したものである。

Q 彦根市移住促進家賃補助金事業の補助金額は。

A 最初の1年間は月額2万円を上限とし、1年を超え2



▲新しく始まった移住促進補助金事業



申し込み全件に助成するための予算である

その他の質問

- ・中山投棄場が、埋め立て中止になった理由は
- ・受け入れる投棄物は変わったのか
- ・料金体制、収支、今後の課題は

Q 「公約の「福祉モデル都市」全国一になれたか



谷口 典隆議員

約に掲げるべきではない。視覚障がいや全身性障がいのある方の移動支援のために、本市でガイドヘルパーの養成を、**A** 県実施の講習の周知を行う。養成については検討する。



▶ガイドヘルパー養成研修の様子

- Q** 市長公約で「全国一の福祉モデル都市」と謳われていますが、現在の彦根市の順位は、**A** 調べたがそのようなランキングがないのでわからない。**Q** では何の根拠もなく「全国一」との公約を掲げたのか。**A** 福祉は数値では説明できるものではないと考えている。**Q** 有権者は「全国で一番の福祉モデル都市」になるものと期待していた。「全国一」の「一」は数値ではないのか。**A** 「一」は数値。
- Q** 公約にある「難病患者らの移動手段充実」の進捗状況は、**A** 実施には至っていない。検討すらない施策を公

A そもそも、そのようなランキングはなかった

その他の質問

- ・ はり・灸・マッサージ施術費給付事業のさらなる制度の充実を求める
- ・ 市職員の手当不正受給問題について

Q 教員の負担軽減策を検討すべきでは



八木 嘉之議員

A 学力向上や生徒指導上の課題を抱える学校も多く、来年度も県費による増員配置や拡充を求めるとともに、市費による加配教職員の拡充ができないか考えている。



▲いじめ防止基本方針

- Q** 本市における平成27年度のいじめ認知件数は何件か。**A** 70件であり、平成26年度と比べて30件増加した。**Q** いじめ認知件数が増えたことをどう分析されているか。**A** 関係機関や地域とも連携しよりきめ細かな取組により、いじめに対する感度が高くなり認知件数が増加している。**Q** 現場教員の負担軽減策を検討すべきではないか。**A** 研究会や協議会の日数の削減や、文書による報告を電子メールに変更するなど業務の負担軽減に取り組んでいる。**Q** さらなる教員の加配を求めるが見解は。

A 業務の負担軽減や加配教職員の拡充を考える

その他の質問

- ・ 市道八坂開出今線で発生した樹木の枝が折れた事案に関して

Q 2千万円もの費用を投じる
スマホアプリとは



北川 元気議員

Q スマホ用史跡散策アプリとは、どのようなものか。

A アプリストアや市HPから無料でダウンロードできるもので、AR技術で再生される動画が見られる場所を5カ所設置し、その場所でスマホをかざせば、人物、建物、文化財などが立ち上がり、ひこにゃんと忍者が謎解く江戸時代の彦根の歴史を2分間ほど楽しむことができるもの。

Q 2千万円もの費用を投じて期待する効果や目標は。

A 効果を数値で示すことは困難だが、まずは一年当たり1500件程度のダウンロード数を目標に考え、PR努力

A 年1500件の
ダウンロード数が目標

も行う。

Q 年間1500件の目標では低すぎるのではないか。

A スタートは1500件として、彦根での滞在時間を長くするなどの効果に期待する。



▲スマホ用史跡散策アプリに登場するひこにゃん

その他の質問

- 彦根城内の売店・露店について
- 大久保市長の公約について
- 愛知川に架かる栗見橋について

Q 大久保市政一期目の総括と
市長選への出馬は



馬場 和子議員

Q 福祉日本一の公約実現は。

A 住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう取組を進めてきた。

Q 市長の目指した強い彦根をどのように体感できるのか。

A 温もりのある福祉政策、人間性を育む教育政策、住める町・働ける町の三つの公約を柱に各施策を進めることにより体感してもらえらる。

Q 任期中に実現しなかった事業（積み残し）への対処は。

A 一定の道筋はつけ早期に実現できるように一層努力する。

Q 積み残した事業を他の人に託すのか続投して仕上げまで関わるのか。出馬の意向は。

A 道半ばであり
公約実現に向け出馬する

A 道半ばであり多くの課題、積み残し事業もある。一期目の経験を活かし、さらに強い彦根を目指して最大限努力し全身全霊で取り組む決意で出馬させていただきたい。



▶市長の公約が掲載された選挙用ビラ

その他の質問

- 中地区公民館の運用状況と評価は
- 市道大敷磯線新設に伴う対応について



稲部遺跡、高い視点に立つての
施策構築を



夏川嘉一郎議員

を越えたもの、古代文明発信拠点として施策展開すべきでは。
A 広く関係団体や有識者とも協議、慎重に対応策を検討していきたい。

Q 十月末、各新聞は稲部遺跡において邪馬台国の時期と重なる遺構出土と記載。現地説明会には全国から千余の人々が参集。早や全国版に様変わり

と見察。さて、邪馬台国とは知る人ぞ知る彼の中国歴史書「魏志倭人伝」に、「東方に邪馬台国有り、王は卑弥呼」と記述されている等、日本の始期に関わるロマンに満ちた幻のクニ。これと同時に出土遺跡は後世に繋ぐべき必然の宝では。まず当局の遺跡評価を問う。

A 本遺跡は、クニの成立を

考える上で重要遺跡と高く評価されている。

Q 遺跡はもはや、本市の粹



遺跡保存の形は、幅広い
協議の中で決定する



▲現地説明会(全国から約1,000人が集合)

その他の質問

- ・地域活性化には、地域コミュニティ強化策が不可欠では
- ・子どもの体力強化には「運動場芝生化」が最適では



未来のホッケー選手育成に
関する市の考えは



長崎 任男議員

工芝を、事業費、維持管理や更新にかかる経費を考慮し、より多くの市民に利用いただけるよう、今後設計を進める中で検討していきたい。

Q 未来のホッケー選手育成に関する彦根市の考え方は。

A 地域に住むスポーツ技能や専門的な知識を持つエキスパートの活用を推進する「スポーツエキスパート活用事業」を実施しており、南中学校ホッケー部においてもスポーツエキスパートを活用し、学校の顧問とともに指導し、大きな成果をあげている。

Q 現在整備検討中の多目的グラウンドをホッケー仕様にするという考えは。

A 金亀公園のグラウンドの整備には、多種目の競技で利用可能な、天然芝に近いロングパイルやサンドベースの人



スポーツエキスパートを
活用し、大きな成果



▶人工芝が整備されたホッケー場

その他の質問

- ・米政策の見直しについて、日本型直接支払制度の現状は
- ・農業委員会法の改正のポイントは



彦根駅エスカレーター工事は延期すべきでは



獅山 向洋議員

根市の玄関口を工事しているは彦根市と彦根市民の恥になる。工事を延ばしてはどうか。
A 彦根駅西口整備を早く行いたい。来訪者に不便をかけないように工夫する。

Q 平成28年度当初予算で彦根駅西口エスカレーター整備事業の予算を認めていたのに、この予算執行を平成29年度に延ばし、本年5月から来年2月まで工事を行うとのことであるが、なぜこのように遅れたのか。
A 工事期間中の駅利用者の動線の確保や駅施設内の店舗営業への影響などで協議に時間がかかった。



▲彦根駅西口



西口工事を急ぎたい
来訪者に不便をかけない

Q 動線や店舗営業は最初から予想されていたことではないか。本年は「おんな城主 直虎」の放映および築城410年祭で彦根市への来訪者が増加する。このような時期に彦

その他の質疑

- ・パーク&バスライドの事業費およびその成功例は
- ・社会実験の意味および失敗した場合の対応は



パーク&バスライドの実証実験の実効性は



辻 真理子議員

などがあるが、奈良市では巡回バスが満員になることもあり、さらなる改善に取り組んでいると聞き、さらなるサービス向上策も検討されている。

Q パーク&バスライドの実証実験の実効性は。
A 様々な方法を検討しながら社会実験を行い検証したい。
Q 城内駐車場にはピーク時には1700台程度の駐車実績があるが、その観光客をどのようにして運ぶのか。
A パーク&バスライドの駐車場計画台数は、250台で、1台に2.5人の乗車としても625人の想定となり、バスの台数も少なくなると考えており、現実味がある輸送方法であると考えられる。



▲パーク&バスライド用地位置図



様々な方法で社会実験を行いたい、検証したい

A 奈良市・伊勢市・金沢市
Q 先行事例の調査は行ったのか。

その他の質疑

- ・物流関係者・商工会議所などの意見を聞いたのか
- ・パーク&バスライドの実証実験が不適合であったときは

議会改革特別委員会 中間報告

11月29日に委員会を開催し、次の事項について協議した。

■常任委員会の議会閉会中の継続調査について
各常任委員会で先進地視察を実施した後、継続調査のための委員会を開催する取組を試行的に実施した成果について協議した。各委員会で継続調査を進めるための協議会も開催され、効果的な運営がなされたとの報告があった。

本委員会では、継続調査項目の設定や変更および調査期間は各委員会に委ねることを確認し、今後、各委員会の自主性を大切にしつつ、効果的に継続調査を進めるため、本格実施に向けての一定のルールを整備していくことを決定した。

■今後、本委員会で検討を進める項目について
今後検討を進める項目について、優先順位の確認を行った。「議会閉会中の継続調査」は引き続き検討を進める項目とし、他に「大学との連携」、「手話通訳の導入」、「タブレットの導入」についても同時進行で可能なことから実施に向けて進めることを決定した。また、彦根市議会議会基本条例に規定されている議会報告会について、現在の実施状況にあわせて規定を見直し、必要であれば改正に向けての検討を行うことを確認した。

彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。平成28年10月14日から1月15日までの状況についてお知らせします。

視察日	議会名	視察項目
10月18日	埼玉県川越市議会	予約型乗合タクシーについて
10月18日	神奈川県海老名市議会	商業の活性化について（商業振興基本条例）
10月19日	山梨県甲府市議会	地場産業活性化基本方針および行動計画について
10月20日	千葉県銚子市議会	学校支援地域本部事業について、生活困窮者自立支援事業について 子どもセンターについて
10月25日	福岡県福津市議会	議会運営と議会活性化への取組について
10月26日	宮城県大崎市議会	市街地再開発について
11月7日	香川県さぬき市議会	生活困窮者に対する学習支援について
11月9日	千葉県千葉市議会	観光振興について、商店街等活性化事業 彦根城博物館出張講座「あなたの街の歴史探訪」
11月10日	神奈川県湯河原町議会	地域通貨「彦」について
11月10日	千葉県佐倉市議会	議会改革の取組について
11月14日	三重県尾鷲市議会	議会改革・開放の取組について
11月15日	神奈川県茅ヶ崎市議会	議場コンサートについて 空き家等適正管理に関する条例について
11月16日	愛知県尾張旭市議会	予算常任委員会について、議会運営について（議会基本条例等） 議会報告会について、議会改革および開放（子ども議会等）の取組について
12月27日	静岡県浜松市議会	彦根市の観光振興・施策について

Pick up! 視察受入プロジェクトチームを設置しました!

彦根市議会では、議会の運営や、議会改革・開放の取組等の項目について、議員で構成する視察対応プロジェクトチームが視察を受け入れています。改革・開放の取組の経緯や成果等を議員が説明し、質問等にお答えすることや、彦根にお越しいただきました他自治体の議会の取組等をお聞かせいただくことを通して研鑽し、議会の資質を高めていきます。



3常任委員会による 先進地視察と継続調査を実施



市議会では、議員の中から選任された委員で構成する常任委員会を設け、議案などを専門的、能率的に審査し、また、様々な調査を行っています。企画総務消防常任委員会、福祉病院教育常任委員会、市民産業建設常任委員会の3つの常任委員会には、24人の議員全員が8人ずつに分かれ、委員に選任されています。

委員会では、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組んでいる自治体等を訪問し、調査研究を行っています。また、本年度からは、議会改革の取組を進め、議会閉会中にも委員会を開催し、委員会ごとに調査事項を定め、「閉会中の継続調査」として、積極的に調査活動を行っていくこととしました。

今後も効果的な調査研究に努め、市政の発展と向上のため、活発な議論を行ってまいります。

企画総務消防常任委員会

- ①11月 7日 福島県いわき市「いわき市地域防災計画について」
- ②11月 8日 千葉県佐倉市「ファシリティマネジメント推進事業について」
- ③11月 9日 千葉県我孫子市「地域コミュニティ活性化への取組について」
- 11月14日 委員会で「ファシリティマネジメント推進事業について」継続調査



▲地域防災力の向上を目指す取組等の資料



▲地域コミュニティ活性化のための啓発資料

いわき市では、東日本大震災による死者464名、倒壊家屋等9万戸以上という甚大な被災の経験から、従来の「被災住民対策」の計画をより広範で緻密な地域防災計画に改定され、職員向けの「業務継続計画」を策定し、職員一人ひとりの役割を明確にしていた点が特徴的であった。

佐倉市では、老朽化する公共施設を維持・管理するための手法である「ファシリティマネジメント推進事業」を視察した。施設の維持管理の部署を市長の直轄組織である「資産管理経営室」に一元化し、データ等を公表することにより市民に対し「見える化・見せる化」を徹底して実践されている。

我孫子市は、首都圏に近くベッドタウンとして発展した街であり、地域の結びつきに難点があることから、自治会を含む関係機関を一元化し、高齢化に対応した組織作りを行っておられた。

こうした視察を通じ、委員会では佐倉市の取組を参考に継続調査を行うこととし、「彦根市公共施設等総合管理計画」に関し、議論を深めることとした。

福祉病院教育常任委員会

- ①10月26日 秋田県大仙市「小中学校における学力向上の取組について」
- ②10月27日 栃木県小山市「子どもの貧困撲滅5か年計画、保育士確保の取組について」
- ③10月28日 千葉県船橋市「地域医療連携について」
- 11月18日 委員会で「小中学校における学力向上の取組について」継続調査



▲毎日取組む自主学习ノート



大仙市では、教育長の強いリーダーシップが発揮され、学校現場の教職員が一丸となり子どもの状況に応じて行う細やかな指導や「一人勉強ノート」により基礎学力が定着した結果、近年では、全国トップレベルの学力を毎年維持されている。

小山市では、子どもの貧困・虐待防止対策本部を設置し、早期発見から生活、教育、就労、経済の支援を充実させ、早期解決を図られていた。また、保育士確保の取組については、保育士等就業奨励金交付事業や保育士再就職支援研修などの事業とともに、ハローワークで月1回、保育士の仕事について紹介する特設コーナーを設けて対応されている。

船橋市では、107の医療機関を情報交換や事務連絡などに手軽に活用できるメーリングリストで結び、地域医療連携を密にされていた。

今後、委員会では、本市の小中学生の学力向上に向けて継続調査を行うこととした。

市民産業建設常任委員会

- ①11月 7日 福岡県福津市「6次産業化の取組について」
- ②11月 8日 佐賀県嬉野市「伝統的建造物群の保存事業について」
- ③11月 9日 長崎県長崎市「観光イルミネーションについて」
- 11月24日 委員会で「6次産業化の取組について」継続調査



▲あんずの里市利用組合が運営する「あんずの里ふれあいの館」

嬉野市伝建地区 ▶
「塩田津」での現地説明



福津市では、6次産業化に取り組む民間の法人の運営について調査を行った。同法人では生産者の負担軽減や消費者のニーズにあわせ、工夫を凝らした運営で、供給量の均等・安定化が図れたとのことであり、現在3つの法人が国の認定を受けて事業化に取り組む本市において、行政主導ではなく生産者の熱意と工夫も含めた取組が重要であるとの認識を得た。

嬉野市では、昨年7月に河原町芹町地区が伝統的建造物群保存地区に選定された本市の現状を踏まえての調査を行い、まちの景観維持やその手法等について学ばせていただいた。同地区の取組は、景観維持と観光振興の両立を目指す彦根市の伝建地区のあり方について、大いに参考となるものであった。

長崎市では、さらなる観光宿泊者増を目指し、朝型観光を企画・開発しようとしており、新たな着想を得たと感じたところである。

なお、「6次産業化の取組について」は、今後も引き続き継続調査をすることに決した。

市議会を見たのは初めてだけど、市にはたくさん
さんの問題があり、議員の人たちはその問題を
改善すべく議論することで、彦根市がさらに良
くなっているんだと思った。

質問をするとき、写真や質問時間がモニター
で映し出されてわかりやすかった。

市民の意見が取り入れられて、どういうこと
が言いたいのが伝わりやすかった。市民目線
なので、ありがたいと思った。

駅前の段差や看板などの小さなことでも、体
育館のような規模の大きいことでも、すべては
利用する人のために工夫されているんだと知り、
今後も議会が私たちの身近にあってほしいと感
じた。

中学生傍聴

12月12日（月）の本会議（個人
質問）を市内7中学校の生徒
33人が傍聴しました。



中学生、高校生が議会傍聴

彦根市議会では、市内の中学生、高校生による12月定例会の議会傍聴を実施しました。この取組は、傍聴を通じて議会を身近に感じ、議会制民主主義の理解を深めるとともに政治への関心を高めることに加え、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことから、主権者意識を高め社会参画へ意欲を醸成することを目的としています。

高校生傍聴

12月13日（火）の本会議（個人
質問）を 学校法人近江育英会
近江高等学校の生徒5人が傍聴し
ました。



開始の合図とともに、緊張感がビシビシと伝
わってきた。自分は学生なので、いじめに関す
る質問は共感できる部分もあり、大人たちが学
生のために真剣に議論しあって暮らしやすい社
会を作ってくれていたのだな、と議会を身近に
感じられた。

いじめについて質問されていて、学生のため
にしっかり議論してくれているのだなと思った。
彦根をもっと良くして、いじめを少なくしてほ
しい。

傍聴した質問が、学校でのいじめという身近
な問題だったこともあり、深く考えることがで
きた。また機会をつくり、個人でも傍聴したい。

傍聴の ご案内

本会議の傍聴の定員は45人、委員会の傍聴の定員は9人です。事前の申込みは不要ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

詳しくは、議会事務局（電話&FAX 0749-22-0906）にお問い合わせください。

議場コンサートを開催しました

議場コンサートは、市民の皆さんに議会に親しんでいただくことを目的に開催しています。

今回は、12月定例会開会日の12月5日（月）に開催し、「Olive & OHANA(オリーブ アンド オハナ)」の皆さんにウクレレ演奏とフラダンスの共演を披露していただきました。

OHANA(オハナ)には、ハワイ語で「家族」という意味があります。



普段は厳粛な雰囲気議場ですが、ハワイアン音楽と華やかなフラダンスにより温かで和やかな雰囲気に一変しました。議員席と傍聴席を埋め尽くした約100名の観客の皆さんも、思わず踊りだしたくなるようなリズムに合わせて手拍子をしたり、ゆったりと流れるようなリズムに合わせて、全員が手をつないで緩やかに踊ったりと、会場が一体となり大いに盛り上がりました。

議員
人権
研修

11/28開催 講演会 「人権て、何だろう」

公益財団法人滋賀県人権センターの福田 定円氏を講師に迎え、彦根市議会議員人権研修を開催しました。

「人権」というと堅苦しく思われがちですが、人権に関わる問題は、日常生活、地域、職場に必ず存在します。まずは、目の前の小さなことから解決しようとの内容でした。議員一同、改めて人権について学ぶことの大切さを感じました。



議員
研修

1/10開催 講演会 大津市議会の議会改革について ～「未来を語る議会」であるために～

大津市議会局 議会総務課長 清水克士氏を講師に迎え、彦根市議会議員研修を開催しました。

議会は、執行部の監視機能だけではなく、政策立案機能を充実することが重要とのことでした。その他、政策検討会議の制度設計、大学とのパートナーシップ協定締結、議会BCP、議会ICT化の推進について説明を受け、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



議会報告会のお知らせ

市民の皆さまに市政に関する情報をお知らせし、様々な意見をお伺いするため、議会報告会を開催します。

第1部では、議会での議論の過程や結果を市議会議員が説明し、第2部では、会場ごとのテーマで意見交換を行います。どなたでもご自由にご参加いただけます。どうぞお近くの会場までお越しください。

第19回 **2/18**±
14:00~15:30
鳥居本地区公民館 会議室(2階)

第20回 **2/21**火
19:00~20:30
南地区公民館 会議室

第21回 **2/21**火
19:00~20:30
稲枝地区公民館 大会議室(2階)

第1部 報告テーマ

- 第79回国民体育大会および新市民体育センター整備について
- 国宝・彦根城築城410年祭について
- 平成29年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」を核とした観光振興について
- 稲枝駅整備および西口開発について
- 彦根城世界遺産登録推進事業について
- 認定こども園について

第2部 意見交換テーマ

**小中一貫教育と
学力向上について**

担当議員

赤井 康彦、北川 元気、杉原 祥浩
辻 真理子、中野 正剛、西川 正義
安澤 勝、山田多津子

第2部 意見交換テーマ

**防災のまちづくり
について**

担当議員

小川喜三郎、奥野 嘉己、獅山 向洋
長崎 任男、夏川嘉一郎、野村 博雄
安居 正倫、矢吹 安子

第2部 意見交換テーマ

**稲枝駅整備および
西口開発について**

担当議員

安藤 博、上杉 正敏、小菅 雅至
谷口 典隆、馬場 和子、八木 嘉之
山内 善男、和田 一繁

お問い合わせは彦根市議会事務局（電話&FAX 0749-22-0906）

編集後記

今年（西暦）は四年、酉（とり）は取り込むとも言われ、商売などでは縁起の良い干支です。その年に「国宝・彦根城築城410年祭」やNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」放映等があることで、彦根は観光客で大賑わいとなり、経済活性化が図られることを期待してあります。

彦根市議会においては、3つの常任委員会が先遣地視察を参考に、市の事業について継続調査を実施し、市への政策提言につなげたいと考えています。

また、議会報告会、子ども議会、中学生や高校生の傍聴を通して、議会が市民の皆さまに身近で親しみやすいものになるよう、努めてまいります。

広報委員会



次の定例会は **2月**です

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
2月27日(月)	開 会	9:00
3月 6日(月)	代表質問 個人質問	9:00
3月 7日(火)		
3月 8日(水)		
3月 9日(木)	予 算 常 任 委 員 会	9:30
3月10日(金)		
3月13日(月)	市民産業建設常任委員会	9:30
3月14日(火)		
3月15日(水)	企画総務消防常任委員会	9:30
3月16日(木)	福祉病院教育常任委員会	9:30
3月17日(金)	本 会 議	9:00
3月21日(火)	閉 会	9:00
3月23日(木)		